

第31回 教育研究評議会議事要旨

日 時：平成18年6月7日（水）13：30～15：10

場 所：事務局 第1会議室

出席者：23名（欠席者3名）

福田雅夫 教授（アジア・グリーンテック開発センター長）

中川健治 助教授（電気系）

第30回 教育研究評議会 議事要旨について

学長から、議事要旨（案）のとおり確認された旨の報告があった。

議 題

1 ホーチミン市工科大学とのツイニングプログラムについて

高田 電気系長及び中川健治 助教授（電気系）から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、構成員から、留学生の奨学金採用が厳しい状況にあるので、渡日後の経済支援に留意する必要がある旨の意見があり、事務局（国際課長）から、ホーチミン市工科大学と、本学における学生納付金及び生活費等を示した上で打ち合わせた結果、ホーチミン市の経済状況はハノイ市を上回っている状況にあり、経済的に支障なく、かつ優秀な学生を送ることが予定されている旨の説明があった。（中川助教授は、当該議題終了後に退席）

2 助手の選考について

福田雅夫 教授（アジア・グリーンテック開発センター長）から、資料2-1に基づき説明があり、審議の結果、次のとおり、第342回 教授会（教授；工学部及び工学研究科）に付議することを了承した。（福田教授は、当該センター助手選考の議題終了後に退席）

引き続き、松本 環境・建設系長から、資料2-2に基づき説明があり、審議の結果、次のとおり、第342回 教授会（教授；工学部及び工学研究科）に付議することを了承した。

3 教員の選考について

矢鍋 機械系長から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、次のとおり、第342回 教授会（教授；工学部及び工学研究科）に付議することを了承した。

4 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

総務課長から、資料4に基づき説明するとともに、国立大学法人評価委員会委員長に提出するまでのスケジュール等について説明があり、審議の結果、これを了承した。

併せて、総務課長から、記載内容について意見等がある場合は、6月15日（木）を目途に連絡いただきたい旨の依頼があった。

5 平成17年度 決算について

会計課長から、資料5に基づき説明するとともに、文部科学大臣に提出するまでのスケジュール等について説明があり、審議の結果、これを了承した。

併せて、会計課長から、当該決算については、監事及び監査法人による厳正

な監査を経ている旨の報告があった。

6 八代工業高等専門学校との単位互換協定の締結について

宮田副学長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 博士後期課程指導教員の資格認定について

宮田副学長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、第342回教授会（教授；工学部及び工学研究科）に付議することを了承した。

教授会審議事項の報告

1 平成19年度 第3学年（推薦選抜）入学者選抜試験 合格者の選考について

2 平成19年度 大学院工学研究科 修士課程入学者選抜試験（学内選抜）推薦者の決定について

3 学部課程卒業者（6月）の認定について

4 大学院工学研究科修了者（6月）の認定について

5 論文博士の学位授与について

6 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について

学長から、上記1から6について、資料8から11に基づき、第342回教授会（教授，助教授及び講師；工学部及び工学研究科 並びに 技術経営研究科；合同）で審議する旨の報告があった。

報 告

1 平成19年度 概算要求事項等について

総務部長から、資料12に基づき報告があった。

2 外部研究資金の受入状況について

3 平成18年度 科学研究費補助金に係る国立大学（工学系）における採択状況等について

研究推進課長から、上記2及び3について、資料13及び14に基づき報告があった。

4 学術交流協定等の締結について

5 外国人研究者の受入れについて

国際課長（石崎副学長の代理）から、上記4及び5について、資料15及び16に基づき報告があった。

6 平成19年度 第1学年 学生募集の概要について

入試課長から、入学試験委員会〔6月20日（火）開催〕で審議・決定した後、第342回教授会（教授，助教授及び講師；工学部及び工学研究科 並びに 技術経営研究科；合同）で報告する旨の説明があった。

7 委員会報告

(1) 教務委員会

①学術交流協定に基づく特別聴講学生の受入れについて

②学術交流協定に基づく特別聴講学生に係る受入変更等について

③研究生の選考について

宮田副学長から、上記①から③について、資料 17 から 19 に基づき報告があった。

8 その他

学長から、下記（１）から（５）の報告があった。

（１）平成 18 年 5 月末日で休職期間が満了となっていた電気系 ^{せき} 關 ^{はじめ} 一 助教授について、本人から 5 月 31 日付けで退職願が提出されたので、これを承認し、高田 電気系長から、本人に辞職承認の人事異動通知書を交付した。

よって、臨時の教育研究評議会は開催しない。

（２）平成 19 年度 第 3 学年入学者選抜試験（推薦選抜）の出願状況について、高専訪問及び出前授業等が功を奏して、「材料開発工学課程」及び「生物機能工学課程」のいずれも志願者が増加した。今後とも高専への P R に努め、優秀な学生を集めるとともに、少なくとも、推薦入学の志願者数が募集人員を割ることのないよう努力してほしい。

（３）平成 19 年度 高専専攻科修了見込者推薦選抜の志願状況について、6 月 6 日（火）現在で、新たな「特待生制度」への志願者 6 名、「通常の志願者」12 名、合計 18 名という状況になっている。平成 18 年度入試は 18 名の志願者数であったので、6 月 8 日（木）の受付期限までに、「通常の志願者」が、限りなく 18 名を超えるよう期待する。

（４）昨今のエレベーター事故の報道について、本学でも、総合研究棟でトラブルが発生したので、大学全体で安全点検を実施すること。また、「専門職大学院 システム安全専攻」が、社会状況に対して正に時宜を得ており、当該専攻教員として、エレベーターの専門家も迎えているので、報道機関などに適宜コメントを提供するなど、P R にも努めるよう要請する。

（５）開学 30 周年の募金趣意書が、必ずしも各企業等に行き渡っていなかったの
で、新たに 500 社以上に趣意書を郵送した。関係の教員から、先方の意向を確認すべく連絡をとっていただきたい。おって、各教員にメールで、この旨要請する。

（６）その他

丸山理事から、独立行政法人 国立高等専門学校機構が主催する「平成 18 年度 高等専門学校 教育教員研究集会」の聴講審査委員 8 名の選出について、各系から協力いただきたい旨の依頼があった。

以 上